

「未来の東京」の実現に向けた  
**重点政策方針**

2

24

「もっと！よくなる！」  
東京

令和6（2024）年8月  
東京都

※政策強化の柱「ダイバーシティ」のみ抜粋

## 「世界で一番の都市・東京」を目指し、 希望あふれる明るい未来を都民とともに切り拓く

- これまで「未来の東京」戦略のもと、大胆な発想と戦略的な視座で政策を積み重ねることで、新型コロナという100年に一度の危機を乗り越えながら、様々な分野で東京に確実な変化をもたらしてきた。待機児童の解消や行政手続のデジタル化、都市の強靭化など、着実に成果を上げている。
- 一方、長引く国際紛争や気候変動で深刻化する自然災害、都市の成熟に伴う人口減少、AIの爆発的な進化、ポストコロナで顕在化した海外諸都市の空洞化など、世界は目まぐるしく変化している。
- 日本に目を向ければ、世界に先駆け少子高齢化が進み、労働力不足や社会保障のあり方などは深刻化。産業構造の転換やDXの遅れにより国際競争力は低下の一途。そのような中、東京が日本を牽引し、持続可能な成長を遂げていくためには、いまだ多くの課題が山積している。
- 今為すべきは、直面する課題に正面から向き合い、大胆かつ柔軟な発想で都政を進化させていくことである。そのために課題を根源まで掘り下げ、成長の障壁を打破する「社会の構造改革」に挑んでいく。
- 都民の命と暮らしを守る。経済を守り、発展させる。あらゆる危険・災害に備える。「首都防衛」こそが、都政に課された最大の使命である。
- 「東京はもっとよくなる」。東京の強みやポテンシャルを最大限活かし、昨日より今日、今日より明日が、もっとよくなる政策を展開し、都民とともに希望あふれる東京を創り上げる。
- こうした思いのもと、「世界で一番の都市・東京」の実現に向け、政策を一段とレベルアップし、都政のダイナミックな動きを加速させていく。

## 戦略を総点検し、政策の実効性を高める

- 「『未来の東京』戦略」では、時代や状況の変化に応じて戦略やプロジェクトを弾力的に見直す（アジャイル）こととしている。
- 政策ダッシュボードも活用しながら、戦略の総点検を行い、政策を更なる高みへと導くことが必要である。

## 将来を見据え、今こそ行動を起こすとき

- 先の見えない不確かな時代だからこそ、将来を見据え長期的な視点で戦略的に取り組んでいく。大きな時代の潮流を見極め、2050年代の東京の姿を描きバックキャストの手法も取り入れ、2035年の東京の将来像と、それに向けた具体的な政策を練り上げる。
- 社会情勢の変化や構造的課題への対応、新たな視点に基づいた施策の構築など、政策の強化を図る。
- 「成長」と「成熟」が両立した持続可能な都市の実現に向け、「ダイバーシティ」、「スマートシティ」、「セーフシティ」を進化させ、都庁の総力を挙げて取り組んでいく。



100年先もすべての「人」が輝く、明るい「未来の東京」を実現するための政策強化の方針として「重点政策方針2024」を示す

# 政策強化の柱



## ダイバーシティ

- 日本の出生数は73万人と過去最低を更新し、少子化は一層加速。若年人口も急激に減少する見込みであり、**今がラストチャンス**
- すべての団塊の世代が後期高齢者となる**2025年**。**2050年**には**3人に1人が高齢者**となるなど、**労働力不足**も一層深刻化
- 都市の活力の源泉は「人」。「人」の力を高め、「人」の力を引き出す、「人」への**投資**を一層加速し、一人ひとりが主役になる社会を創り上げていく

／もっと！／

全ての人が輝く東京へ



## スマートシティ

- 日本の2024年世界競争力ランキングは過去最低の38位まで後退し、**国際競争力**は低下の一途
- 世界では産業構造の大きな転換期を迎える、**GX・DX**は**世界経済の新基軸**となり、**スタートアップ**が、**世界の変革と成長**を牽引
- 人口減少や柔軟な働き方など**社会の変化**を捉えた**新たなまちづくり**は都市の未来に大きく影響
- 東京が世界をリード**していくため、「**成長への投資**」をより一層強化

／もっと！／

活力あふれる東京へ



## セーフシティ

- 激甚化・頻発化する大規模災害など、あらゆる**リスク**に強靭な**東京**への進化は待ったなし
- 平均気温は最高を更新。**2050年**ゼロエミッションの実現と**エネルギーの安定確保**など、持続可能な社会づくりは急務
- 不安定な国際情勢などあらゆる危機から都民の命と生活を守ることは**使命**
- 「**備えよ常に**」で、万全の対策を講じ、持続可能な**都市基盤**を確保

／もっと！／

安全・安心な東京へ

# 目 次

## ダイバーシティ

人への投資をさらに強化	5
子育てしやすい東京	6
子供・若者の成長支援	7
未来を創造する人材を育成	8

誰もが活躍できる社会を目指す	9
いきいきと輝けるChōju社会	10
インクルーシブシティ東京	11

## スマートシティ

日本の持続的成長を牽引	12
企業を支え変革を後押し	13
イノベーションを創出	14
質の高いデジタルサービス	15
成長を支える都市基盤	16

魅力を高めるまちづくり	17
みどりと生きるまちづくり	18
観光、芸術文化、スポーツ	19
東京のポテンシャルを発揮 (江戸・多摩・島しょ)	20

## セーフシティ

都民の命と暮らしを守る	21
都民と地域の防災力を高める	22
暮らしの安心が守られた東京	23

脱炭素化とエネルギー安全保障	24
水素の社会実装を加速	25
循環型都市を実現	26

## 政策強化に当たって必要となる視点

## シン・トセイ重点強化方針2024

# 人口減少に正面から向き合い、人への投資をさらに強化

## Point！

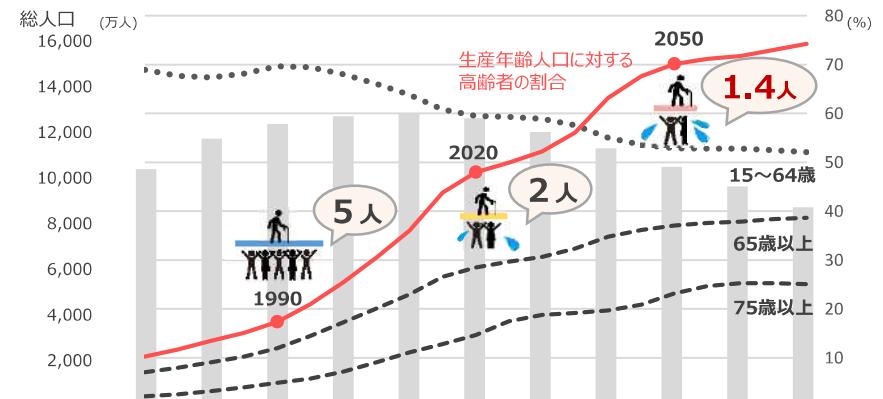
- 日本の**出生数**は73万人を切り**過去最少**、**若年人口**の急激な減少も予測され**少子化**傾向の反転には、今が**ラストチャンス**
- 2025年は団塊の世代が後期高齢者、2050年には3人に1人が高齢者となり**超高齢化社会**の進展で**労働力不足**は一層深刻化
- 社会経済の存続基盤を揺るがす危機に対し、もはや**一刻の猶予もない**  
「人」の力を高め、「人」の力を引き出す**人への投資**をさらに**強化**し、一人ひとりが輝く**持続可能な社会**へ進化していく



もっと！よくなる！東京

## 生産年齢人口に対する高齢者の割合

生産年齢人口の減少と高齢者人口割合の増加により、**2050年**には現役世代1.4人で高齢者1人を支える社会が到来

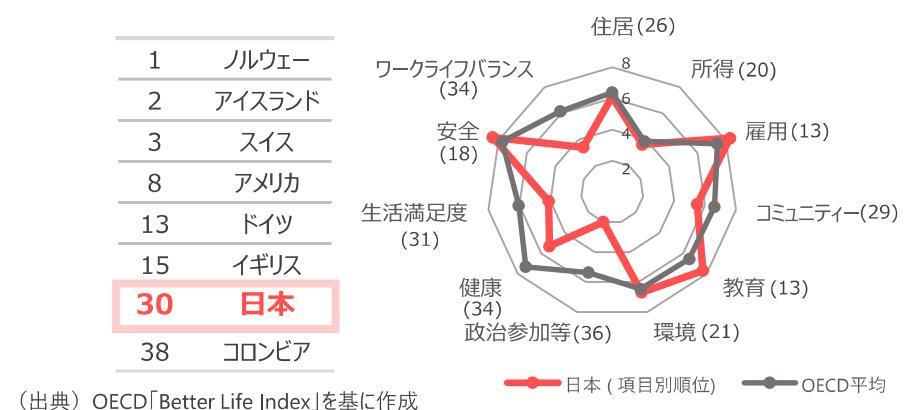


(出典) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）」を基に作成

## 幸福度の国際比較

日本は、教育、雇用、安全は中位だが、**ワークライフバランス**、**生活満足度**、**政治参加等**が低く、**OECD38か国中30位**と低迷

1	ノルウェー
2	アイスランド
3	スイス
8	アメリカ
13	ドイツ
15	イギリス
<b>30</b>	<b>日本</b>
38	コロンビア



(出典) OECD「Better Life Index」を基に作成



# 子育てしやすい東京を目指し、シームレスに支援

## Point !

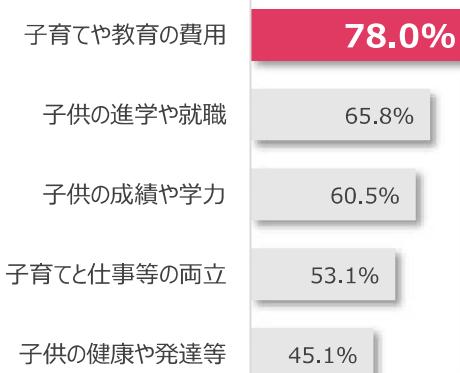
- 出会いから**結婚、妊娠・出産、子育て**までライフステージを通じた**切れ目ない支援**により、結婚したい、子供を産み育てたいと**望む人の願い**を叶える
- 出産や子育てにかかる**経済的負担**を一層軽減させ、将来への**不安や悩みを払拭**
- 子育て家庭の多様なニーズを的確に捉え、**保育の質**の更なる向上、**児童の居場所**の充実、**子どもDX**を進めるなど、**子育てしやすい環境づくり**を推進



もっと！よくなる！東京

## 子育て世帯が抱える悩み

子育てや教育の費用を負担に感じている世帯が約8割

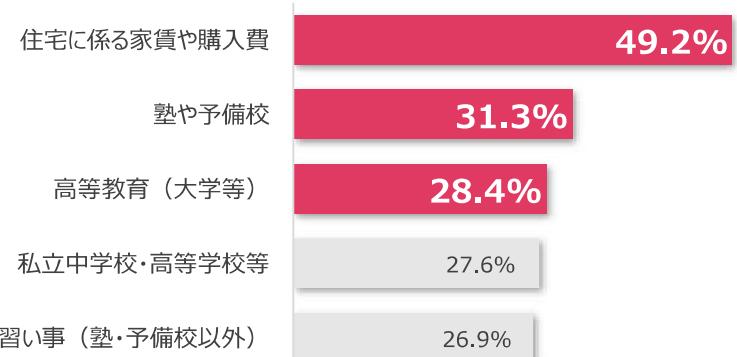


これまでの主な取組  
ニーズを捉え、大胆に政策を拡充  
**高校生等の医療費助成**  
**第二子の保育料無償化**  
**018サポート**  
**学校給食費の負担軽減**  
**高校等授業料実質無償化**

(出典) 東京都「とうきょうこどもアンケート」(2023年11月)を基に作成

## 住環境・教育面で課題となる経済的負担

家賃や大学等にかかる費用を負担に感じている方が多い



(出典) 東京都「令和6年度若年層及び子育て世代を対象とした意識調査」(2024年8月)を基に作成

# 未来を担う子供・若者の成長を社会全体で支える

## Point !

- **子供は社会の宝。**一人ひとりに寄り添う、きめ細かな支援で、子供の笑顔あふれる**チルドレンファースト**社会を実現
- 全ての**若者**が、本人の置かれた状況に関わらず**健やかに成長、自立**し、自分らしく**輝ける**よう、多様な主体とも連携し、全力でサポート
- **声や思い**を真正面から受け止め、当事者目線に立った政策を通じ、「いま」と「みらい」を**子供・若者**と一緒に創っていく



もっと！よくなる！東京

## 諸外国等における子供・若者の意見反映手法

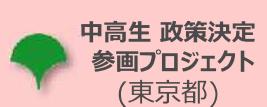
子供や若者が影響力を発揮することを重視し様々な取組を展開



Comhairle  
na nÓg  
(アイルランド)



Digiraati  
(フィンランド)



中高生 政策決定  
参画プロジェクト  
(東京都)

- 12歳～17歳の若者が参画する地方自治体に設置されたユースカウンシル

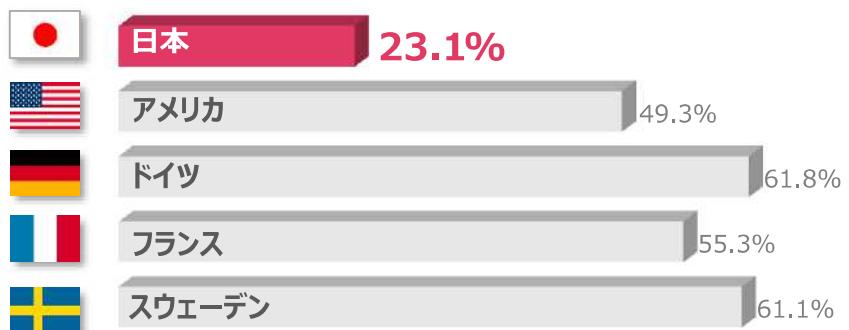
- 子供や若者が自由に議論するためのデジタルオンラインプラットフォーム

- 中高生が対象となる都の政策について、意見をまとめ、知事に政策提案する取組

(出典) 左、中：株式会社NTTデータ経営研究所「こども政策決定過程におけるこどもの意見反映プロセスの在り方に関する調査研究」(2022年11月) 等を基に作成

## 「自国の将来は明るい」と思う子供・若者の割合

「自国の将来は明るい」と思う子供・若者の割合は約2割にとどまり、諸外国と比較して低い



(出典) こども家庭庁「我が国と諸外国のこどもと若者の意識に関する調査(令和5年度)」を基に作成



# 世界に羽ばたき、未来を創造する人材を育成

## Point !

- 子供たちが、一人ひとりの**個性**や**強み**を伸ばして**自分らしく成長**できるよう、**多様な学び**の環境整備が必要
- 海外での学び等を通じた**国際感覚**のかん養や、社会課題への挑戦を促す**アントレプレナーシップ**の醸成、**科学技術**の**研究力向上**など、**未来を創造**する人材の力を一層高める投資が不可欠
- 一人1台端末を更に活用した**教育DX**や**少人数学級**により、**個別最適な学び**を充実させるとともに、**教員の働き方改革**を進め**教育の質**を向上

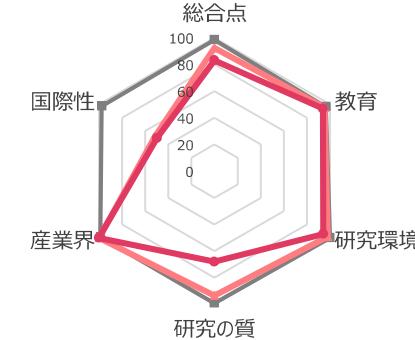


もっと！よくなる！東京

## 世界大学ランキング2024

国内大学のランキングは近年盛り返しており、教育・研究環境・産業界の指標は高得点であるが、研究の質・国際性は低い

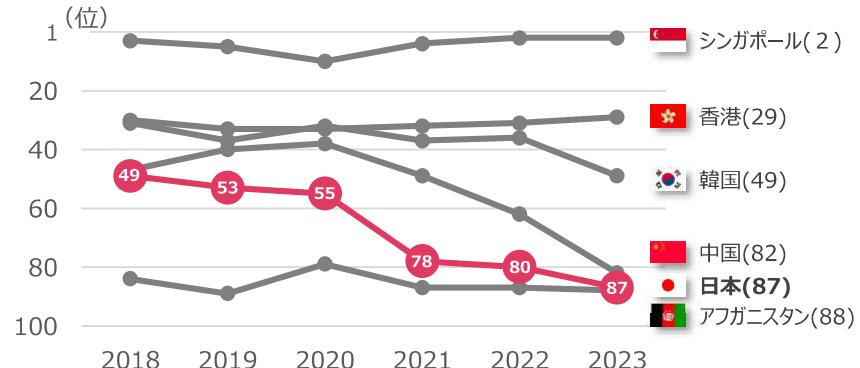
2018		2024		大学
1	1			オックスフォード大学
3	2			スタンフォード大学
5	3			マサチューセッツ工科大学
30	12			清华大学
27	14			北京大学
22	19			シンガポール国立大学
46	29			東京大学
74	55			京都大学



(出典) The Times Higher Education「World University Rankings」(2018年・2024年)を基に作成

## 国・地域別英語能力指数ランキングの推移

日本の英語能力は世界で87位であり、アジアの国・地域と比較しても低い水準



(出典) EFエデュケーションファースト「EF EPI EF 英語能力指数」(2018年～2023年)を基に作成

# 誰もがポジティブに活躍できる社会を目指し、働き方を改革

## Point !

- 女性のキャリア形成支援や、社会のマインドチェンジに加え育児や介護、健康課題等と仕事との両立支援を強化し東京から社会に大きなうねりを起こす
- 働く人をハラスメントから守る対策を加速するとともに、柔軟な働き方や、賃上げの支援などにより、高い生産性とライフ・ワーク・バランスが両立した、いきいきと働ける職場環境を整備
- リスキリング等の学び直しにより、時代の変化に対応し生涯を通じて活躍できる社会を実現

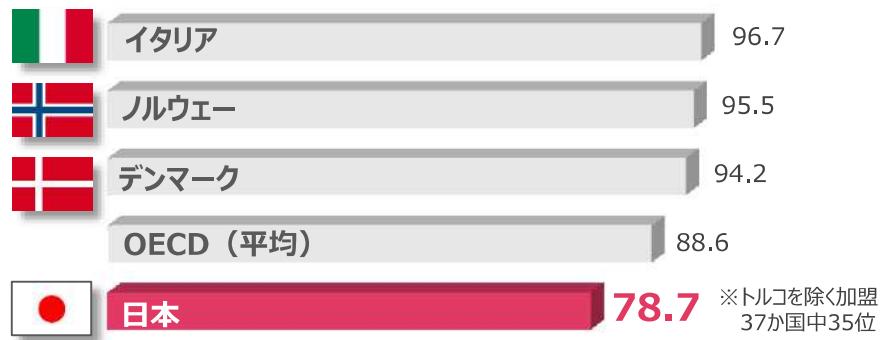


もっと！よくなる！東京

## 男女間賃金格差の国際比較

国際的に見て、日本の男女間賃金格差※は大きい状況

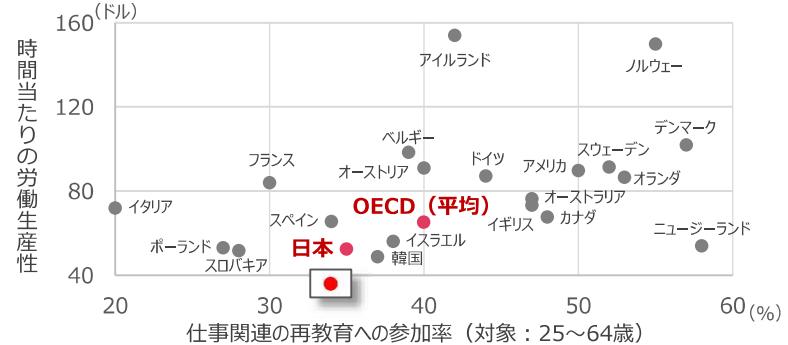
※2022年の男性のフルタイム労働者の賃金の中央値を100とした場合の女性のフルタイム労働者の賃金中央値の水準を割合表示した数値



(出典)「OECD Data Explorer」(2024年7月5日時点)を基に作成

## 学び直しと生産性の国際比較

仕事に係る再教育参加率が高い国ほど、時間当たりの生産性が高いが、日本はOECD平均を下回っている



(出典)日本生産性本部「労働生産性の国際比較2023」(2023年12月)及びOECD「Education Working Papers No.223」(2020年7月)を基に作成



# 高齢者が安心して、いきいきと輝けるChōju社会を実現

## Point !

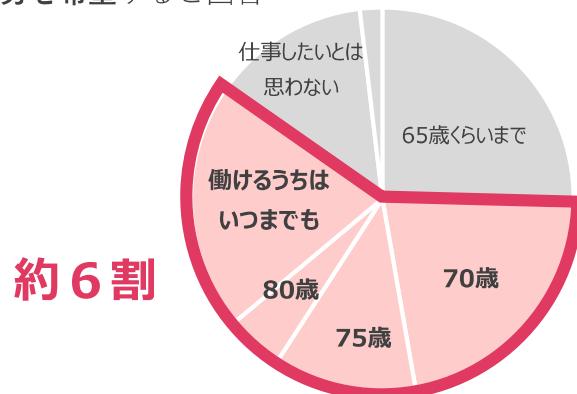
- 意欲ある**高齢者**がいつまでも自分らしく活躍できるよう、希望に応じた**働き方**の推進や**社会参加の促進**等を更に加速
- 快適な**住まい**や円滑な**移動手段**などを充実させ、高齢者が安心して暮らし続けられる**良好な生活環境**を確保
- 年齢や健康状態に応じた、**健康づくり**への支援や**認知症施策**の強化、人材確保をはじめとした**介護基盤の充実**等を展開し、豊かな老いをサポート



もっと！よくなる！東京

### 何歳ごろまで収入を伴う仕事をしたいか

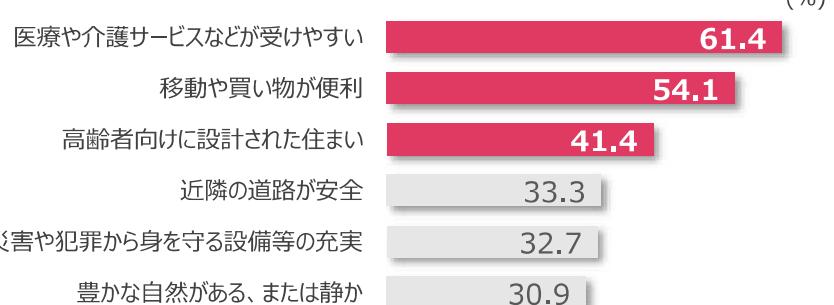
60歳以上を対象に調査したところ、約6割が65歳を超えても就労を希望すると回答



(出典) 内閣府「令和元年度 高齢者の経済生活に関する調査」を基に作成

### 高齢者が生活環境において重視すること

医療や介護サービスに関することや、移動・買い物、住まいなど多様なニーズが存在



(出典) 内閣府「令和5年度 高齢社会対策総合調査」を基に作成



# 誰もが自分らしく生きるインクルーシブシティ東京

## Point !

- 性別や国籍、障害の有無などを問わず、**誰もが輝く共生社会**の実現に向け、多様な主体の力を結集し、多面的な**支援**と**インクルーシブな交流**を促進
- 互いに助け合い安心して暮らせるよう、**地域コミュニティ**や**ボランティア**の活性化により、まちに息づく**支え合いの輪**を拡大
- 今後、単身世帯の増加により、つながりの希薄化も懸念。**居場所づくり**や**見守り**等の強化により**孤独・孤立**に悩む人を**誰一人取り残さない**



もっと！よくなる！東京

## ダイバーシティと業績の相関

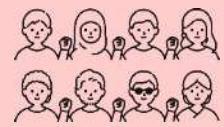
多様性のある企業は、そうでない企業と比べて、業種平均より優れた業績を達成する割合が高い傾向

### ジェンダーの多様化



+39%

### 人種・文化の多様化

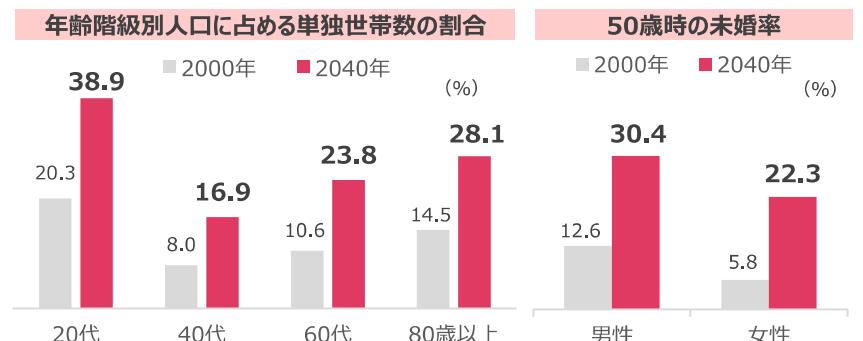


+39%

※女性比率及び文化的多様性について、それぞれ上位25%と下位25%の企業業績を比較  
(出典) McKinsey & Company「Diversity matters even more」(2023年12月) を基に作成

## 単身世帯数の割合

単身世帯数の割合は増加見込み。未婚率の増加も背景に、今後近親者のいない単身高齢世帯が増加すると想定



(出典) 国立社会保障・人口問題研究所「『日本の世帯数の将来推計（全国推計）』（令和6年推計）」等を基に作成